

『学際』第20号 編集代表：宮川公男 2007年11月27日発行、統計研究会

(財) 統計研究会創立60周年記念行事の一環として

<http://www.gakusai.org/index2.html>

巻頭言	
持続可能な未来への望ましいビジョン <i>Positive Visions for the Sustainable Future</i>	James Gustave Speth 訳 黒坂
特集：持続可能な未来のビジョン“Our Common Future” から 20 年目に考える	
(特集の扉) 持続可能な未来のビジョン	黒坂三和子・宮川公男
環境と開発に関する世界委員会 報告書と東京宣言— 20 年目に振り返って—	加藤久和/名古屋大/法
ブルントラント委員会大来佐武郎先生を支えての 4 年間	橋本善太郎/元環境庁
バブル経済のさなかで正しく理解されなかったブルントラント報告	原 剛/早大アジア太平洋科
温暖化防止—外交の現場から	朝海和夫/外務省
ブルントラント対デイリー ～環境倫理学の立場から～	加藤尚武 東京大学大学院
21世紀の Our Common Future と日本の役割-多様ないのちと人びとの安寧のために	黒坂三和子/JCSD
<未来を創るフロンティア>	
アマゾン熱帯林破壊と日本の暮らし	南研子/熱帯森林保護団体
アホウドリを守れ、漁業と共存の道	市田則孝/NPO 法人バードライフ・アジア
環境問題への中国の取組みに期待する	宮川公男
北極・南極の氷がとけている～アラスカ・フェアバンクスで考えたこと	田中泰義/毎日・科学環境部
マイナス成長をめざす経営-地方の企業の実行力	向山邦史/榊向山塗料相談役
森は海の恋人—気仙沼湾の牡蠣養殖の再生	畠山重篤/牡蠣の森を慕う会代表
身近な生きもの場創りを障害者とともに—ビオトープの可能性	瀬口和矩/ビオトープネット
霞ヶ浦アサザプロジェクトの展開～中心の無い動的なネットワークで壁を溶かし膜に変える	飯島博/アサザプロジェクト代表
学際人の肖像 P.F.ドラッカー	
P.F. ドラッカーの人と学問をめぐって	伊藤邦雄(一橋大)
学際の極致としてのドラッカー	上田惇生
ドラッカー先生に学んだこと(仮)	伊藤雅俊(イトーヨーカ堂)
がくさい・えっせい	
研究室の窓から：「不思議」と「物理学入門」	柏瀬和司 名古屋大学名誉教授
「七十年の壮大な実験の失敗」に思う	相沢英之/元大蔵次官、経企長官
連載 グリフォンの尻尾—コンピュータの次は何か	Th.K. オトスキー
学際書架 自著を語る「人口学への招待」	河野稠実
自著を語る「宮澤賢治の地的世界」 宮澤賢治賞奨励賞受賞	加藤禎一